

「普通」を夢見て

「神様、次に生まれてくるときはウルトラマンのようなヒーローになりたいです」

さあ、あとは団地の最上階の天窓に掛けた指を離すだけ……。

そのときです、突然こんな言葉が頭をよぎりました。

ヒーローは逃げない。

ハッとして、私は両の腕に力を入れてからだを持ち上げると、そのまま屋上の床に倒れ込みました。すんでのところであちら側に行くのを免れたの

死を覚悟してやっと「本当の幸せとは何か」に気づけました

貧しかった少年時代。早く自分で稼げるようになって「普通になりたい」と思っていた。やがて大人になり、人生の成功を夢見て誰よりも努力した。結果も人もついてきた。これが幸せなのだと思っていた。ところが……。

株式会社フリースタイル代表取締役

あ お の た け よ し
青野 豪淑

です。顔を上げると、さつきまでモノトーンだった目の前の景色が、キラキラ輝いているではありませんか。これからは世のため、人のために生きよう。

ようやく探し求めていた答えが見つかったと思いました。

王貞治が七五六本の本塁打世界記録を達成した一九七七(昭和52)年に、青野豪淑さんは六人姉姉の末っ子として大阪に生まれました。大家族なのに酒好きの父は定職に就かず、家計はいつも火の車。そんな家庭に育った青野さんは、子どものころ

から早く働いてお金を稼いで「普通」になりたいという意識が強く、高校生になると入学式の日から働き始めた。ヤンキーばかりの高校だった。青野さんはバイトが忙しすぎて、グレル暇もなかったという。

「移動は歩くより走るほうが時間が早かった」ダラダラ時間を過ごすよりテキパキやったほうがみんながほめてくれるから気持ちがいい。高校時代に学んだのはそんな仕事の基本ばかり。卒業後に就職した食肉店でもバイトの経験を生かして、決して手を抜かず、誰よりも早く出社して遅くまで働いていたら、それ